

平成25年度沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス・  
アドバイザー委員会（第1回）の議事概要について

1. 日 時：平成25年12月24日（火） 13時～14時

2. 場 所：沖縄総合事務局 事業審査室（4階）

3. 出席委員：

委員長	阿波連 光	弁護士
委員	友利 果苗	税理士
委員	宮城 和宏	沖縄国際大学教授

（委員は五十音順）

4. 議事概要

1) 委員長選出

2) 平成25年度沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス推進計画(案)  
について

5. 各委員からの主なご意見

- ・ 個々の職員の自覚が大切である。100人の職員がいて、99人が守っても1人が事件を起こしたら取り組みの意味がない。
- ・ コンプライアンスの取り組みを進める上で、職員をあまりにも脅かしてはいけない。どこまでが可で、どこから不可なのかのポイントをしっかり説明することが重要である。
- ・ 談合がどういうもので、どう引き込まれていくのか具体的な研修が必要である。また、談合がどういうものなのかも知らない職員へも研修で教える必要がある。
- ・ コンプライアンス研修は、興味を持たせるような工夫も大切である。また、抽象的な研修ではなくテーマを絞るとか、具体性を持たせた研修が良い。
- ・ コンプライアンス研修は、職員全員を参加させることが重要である。ある程度、期間を決めて、確実に全職員が参加できるよう取り組むべきである。自由参加ではいけない。義務づけが重要である。
- ・ コンプライアンス研修は、職員の経験年数や職務内容、役職等を考慮した職員のレベルにあった研修が職員の自覚を促す上でも重要である。
- ・ 業界団体を通じた事業者への説明の場合、ワンクッションがあるので、直接、事業者を集めて説明会を開催した方が良い。

以 上